@PATIENTID 病名(他に考える病名)

氏名 @PATIENTNAME

@PATIENTWARD 病棟

@PATIENTROOM 号室

担当医師 @USERNAME

<u>担当看護師</u>

<u>症状</u>

担当薬剤師

@SYSDATE

@SYSDATE						
月日	月日			月日	月日	月日~月日
経過	入院 •	手術 手術前	当日 手術後	手術後1日目	手術後2日目	手術後3~4日目 退院
目標	手術への準備ができている		苦痛を医療者に訴えることが できる	早期離床ができる。	離床が進み、尿管抜去 ができる	日常生活が自立できる
検査	診察、超音波検査があります。	<手術にいくまでの流れ> □朝6時頃に浣腸をします。 □麻酔科医師の指示の内服が	手術後採血があります。	採血があります。		□手術後4日目に朝採血、尿検査があります □退院前の診察があります
処置	禁煙してきてください □おへそのそうじをします。 □入浴します。 □医師が腕に名前を書きます。 □手術準備品の確認をします。 □夕食後に下剤を内服します。 □20時頃に浣腸します。	あれば服用します。 ロパンツ以外の下着を脱いで病衣に着替えてください。 ロ化粧やマニキュアを落としてくださいののストッキングを着用します。 ロ義歯、時計、ヘアピン、指輪を外してください。 ロ髪の長い方はヘアゴムで東れましょう。 ロ貴重品を家族の方に渡してください。	手術室から膀胱留置カテーテルを入れたまま戻ります。 翌日まで酸素吸入を行います。 血栓予防のためのマッサージ機を装着します。 酸素吸入	□朝、酸素吸入を終了します。 □医師が創部の確認をします。 □歩けるようになるまでは、血栓予防のマッサージ機を継続します。	口膀胱留置カテーテルを 抜去します。	□医師が創部の確認をします。 □必要時、超音波での検査を行います。 問題がなければシャワー浴が開始になります。
観察	入院後、検温、検脈、血圧測定を 行います。	朝6時頃に検温、検脈、血圧測 定を行います。	手術後は随時、検温、検脈、血 圧測定と創、膣からの出血がないか確認します。			
注射	がんばいましょう	必要時、午前中に点滴をします。	手術室から点滴をしまま病室へ 戻ります。手術後、抗生剤の点 滴をします。	口点滴は翌日の朝まで続きます。状態によっては夜で点滴が終了となることもあります。 朝と夜に抗生剤の点滴があります。	口点滴は本日で終了になりま す。	
内服	普段内服している薬はいつも通り内服してください。 薬剤を含護師が内服薬を確認します ※内服しているお薬は、 入院時に看護師に 提出してください。	医師の許可があるまで薬は中止になります。		水分開始後、痛み止めの内服が始まります。 持参薬がある方は、医師の許可後内服開始になりま す。		口必要時、薬が処方されます。
食事	タ食まで食事がとれます。 アルジネードウォーターを飲みます。 (手術の時間によって飲む時間が決まっていますのでお知らせします。) 食事に関するアルルギーなどあれば、 相談してください。			医師の指示により水分、食事が開始になります。 むせり、吐き気がないか確認しながらのんでください。		初めて歩行すると きは、看護師が付 き添います。術後 早期に歩いた方が、 職場復帰、旅行など は医師に相談して下
行動	活動、入浴に制限はありません。	手術室へ移動します。	手術後は病室へ戻ります。 戻ったらベット上で動けます。 ※創が痛い時や気分が悪い時 は、教えてください。 お薬を使います。	午前中に体を拭いて、着替えをします。 立ちましょう	シャワーの許可がでるまで体 を拭きます。 どんどん歩きましょう。	回復もはやくなりますよ!!
説明	出をお願いします。) 看護師により手術の準備につ いての説明があります。 麻酔科、手術室看護師が訪室 します。	くご家族の方へ> 病棟内でお待ちください。離れるときは、待機場所を看護師にお知らせください。	手術後、医師より家族の方に説明があります。	体を拭きます	' a.	医師より退院の説明があります。 看護師より退院後の生活について説明があります。 口退院時には予約票・退院証明書・退院処方が渡されます。 口退院時にはリストバンドを外します。

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。 注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

福島県立医科大学附属病院 パス承認番号(No.183) 承認月日(平成28年11月2日)

署名:

続柄:

特別な栄養管理の必要性 有